

「ZENJIRO」 って… 禅寺丸柿のぜんじろうです。

落合の地はかつて柿の産地として知られていましたが中でも「ぜんじまる」は有名でした。まん丸の形で、表皮に白い粉をふき、中身はごまいりで黒っぽく上品な甘い味です。いつしか市場に出すこともなくなりましたが、旧家の庭でなったぜんじまるは今も親しまれています。この品種は多摩川の対岸川崎市柿生の王禅寺で発見された原木がもとになったことから禅寺丸と名づけられました。今も彼の地にはたくさんのぜんじまるの木があって、柿の里として賑わっています。落合の地にどうやって根付いたのかは謎です…。



落合第二地域センター

まちの資料・読書コーナー紹介

まちのみちしるべ「まちの資料・読書コーナー」では、落合大好き人間が集め、作成した、昔々のこと、地図、昔ばなし紙芝居、カルタ、川、坂、道、文化人マップ、人々の暮らし…を公開しています。まちの資料のうち「おちあいコミュニティ文庫」は常時公開しています。貸し出しはなく、閲覧のみとなっていますが、戸棚のなかにある図書を閲覧したい方は、事務局にお申込みください。ご自由にコピーすることができます。また、オリジナルの「落合カルタ」、「落合昔ばなし紙芝居」の貸し出し、冊子の頒布も行っています。詳しくは事務局におたずねください。

なお、毎月第1、3木曜日1時～4時、「まちの資料」の解説をいたします。また、落合第二地域センター広報誌「おちあい」は1988年以来まちの情報、自然、文化、歴史を紹介してき100号を数え、バックナンバーをいつでもご覧になれます。